



荒木 三朗

質問 1

町長の施政方針について
(給食費無料化は)

町 財政シミュレーションで検討

問 大田原市では平成24年度から、約3億円の歳出で学校給食費の完全無償化。当町では全員を対象にすると約7千5百万の歳出が必要になる。一時的な歳出ではなく継続する経費である。無償化は。

検討していく。この2つのシミュレーションの結果を、町としてのスタート時期、ボリューム等の判断材料とする。

答 学校給食費の無償化を実施するためには、多額の経費が必要になる。町を挙げて事務事業の見直し等、行財政改革の税推進を図り、財源を確保するとともに無償化に向けて検討する。

問 具体的に財源確保のめざは。

答 給食費の無料化については、継続性が非常に大事である。現在、町全体の事業について、町長と各課でヒアリングを実施している。その結果を踏まえた財政シミュレーションと事業の運用について所管課で



町 関係機関との連携を強化

質問 1

町長の施政方針について
(福祉政策の強化は)

問 福祉政策の強化としているが、地域包括の充実という大きな支援事業の具体的な政策は。

答 デマンド交通の黒磯の病院への運行を開始した。その影響もあって利用登録者、利用者ともに増加をしている状況である。今後公共交通網再編の計画に基づき、さらに色々な事業を進めていく。

答 介護予防事業や生きがいづくりの取り組みを推進するとともに、地域の見守りや助け合い活動を促進させ、高齢者が健康で安心して生活できる地域づくりを推進していきたい。また、支援を必要とする高齢者や、その家族の相談に適切に対応し、地域包括支援センターの体制強化や関係機関との連携を図り、適切な支援が提供できるよう、福祉サービスや介護サービスの確保に努める。

問 地域包括の全体的な介護予防、あるいは生きがいづくりは外出支援が一番大きな問題である。取り組みは。



生きがいサロン(推進事業)の交流風景